

下地 床・立面

鉄部

鉄部（エポキシ系錆止め）

カチオンタイト 選定手順

- (1)次工程の仕上げ材を選択
- (2)適用材料を確認
- (3)施工道具を確認
- (4)塗り厚を確認

適用材料一覧

- カチオンタイトF ⇒F
カチオンタイトT ⇒T
カチオンタイトFS ⇒FS
カチオンタイトTS ⇒TS
速硬カチオンコテ ⇒速コテ
速硬カチオンローラー ⇒速ロラ
カチオンフィラー ⇒フィラー
タイトワンコテ ⇒タイコテ
タイトワンローラー ⇒タイロラ
YS厚付けモルタル ⇒YS
速硬カチオン厚塗り ⇒速厚

(1)次工程の仕上げ材	(2)適用材料	(3)道具	(4)塗り厚
無機系 (モルタルなど)	F/速コテ/タイコテ 速厚	コテ コテ	1～3mm 3～10mm
タイル仕上げ (石張り仕上げ)	F/FS/速コテ/タイコテ 速厚	コテ コテ	1～3mm 3～10mm
水性塗料仕上げ	F/速コテ/タイコテ 速厚 T/速ロラ/タイロラ	コテ コテ 刷毛・ローラー	1～3mm 3～10mm 1mm
溶剤系塗料仕上げ	FS/速コテ 速厚 TS/速ロラ	コテ コテ 刷毛・ローラー	1～3mm 3～10mm 1mm
貼り物仕上げ (プライマー水性)	F/速コテ/タイコテ 速厚	コテ コテ	1～3mm 3～10mm
貼り物仕上げ (プライマー溶剤)	FS/速コテ 速厚	コテ コテ	1～3mm 3～10mm

施工上の注意

- カタログP15 必ずご確認ください。
- ・鉄板の場合、たわみや温度変化の膨張、振動等により、カチオンに剥がれが発生する可能性があります。
 - ・広い面での施工は推奨しません。
 - ・縞鋼板で、亜鉛メッキ処理下地は推奨しておりません。
 - ・コテ塗りのカチオンタイトは、コテ波が出やすい為、次工程で下地を拾うような薄い仕上げ材を施工する場合は、別途補修材の施工や、ペーパーを当てるなどでご対応下さい。
 - ・ローラー施工の場合、仕上がりはフラットにはなりません。その為仕上げ材が薄塗り材ですと、施工跡が仕上がりに影響する可能性があります。
 - ・下地の凹凸を平滑にする場合はコテ塗りをご選定下さい。
 - ・次工程がタイル仕上げで、接着剤に一液弾性ボンドを使用する場合は、「速コテ」「速厚」をご選定下さい。
- ※この表はあくまでも原則であり、施工箇所、条件などにより適用材料が変わる場合がございます、詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。